

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和5年度）

基本方針	1.未来に輝く人づくり
基本施策	1-1.結婚・出産・子育ての希望を叶える
関連するプロジェクト	1.子育て寄り添いプロジェクト

子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるため、結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目ないライフサポートの充実と、乳幼児期の子どもの成長に寄り添う子育て支援の充実を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
1

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象：R5) (上段：指標に基づくもの 下段：指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析（上段：指標に基づくもの 下段：指標以外のもの）		今後の方向性 (◇：R6に着手予定・着手済み ◆：R7以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	福祉部/健康こども部	●	子育て世帯の経済的負担の軽減	医療費助成について、拡大の効果を検証するとともに、必要に応じて支援のあり方について検討していく。 保育料や副食費については、現状の独自軽減を引き続き実施していく。また、引き続き多子世帯へ給付金を支給するほか、出産や育児へのサポートを充実させ、子育て家庭への経済的負担の軽減を図っていく。	① 子育て環境の充実度(市民意識調査)は、前回調査から大きくポイントが減少している。	A (A)	・令和4年8月、令和5年8月及び12月と継続的な医療費の負担軽減策を実施しているが、医療機関を受診する場合のみの軽減策のため、全体の充実度を引き上げることにつながっていない可能性がある。 ・市民アンケートの実施時期が7月なので、令和5年8月及び12月の軽減策は、アンケート結果には反映されていない。	子育て支援に対するニーズの高まり、ニーズの多様化が影響している可能性がある。	◇継続して福祉医療費給付制度を実施していくとともに、国に対して全国一律の制度創設を求めていく。 ◆児童手当の拡充に伴い、多子世帯給付金事業は令和6年度をもって終了とするが、これに替わる子育て支援策を実施する。
					・18歳までの子どもの医療費について、令和5年8月診療分から現物給付とし、令和5年12月から所得制限を撤廃するため条例を改正した。 ・子ども8,357人、ひとり親家庭1,378人、妊産婦155人に対して、医療費の一部を給付した。 ・多子世帯給付金を843人分支給した。 ・第2子以降の保育料無償化、第1子保育料の半額を実施した。		・医療費の一部を負担することで、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。 ・給付金の支給及び保育料や副食費の軽減により、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。	・医療費給付制度は、自治体毎に給付対象者の範囲が異なり、全国一律の制度を望む声が挙がっている。	
2	健康こども部	●	子どもを希望する夫婦の経済的負担の軽減	不妊治療により妊娠・出産が叶った例が10%を超えており、経済的な理由により、子どもを希望する夫婦が妊娠をあきらめず治療を継続できるよう、引き続き、特定及び一般不妊治療費の一部助成により経済的負担の軽減を行う。	①② 妊娠届者のうち、不妊治療をした人の割合は増加しており、期待値を上回っている。	A (A)	特定及び一般不妊治療費の一部助成にかかるチラシを産婦人科医療機関へ配布・周知することによって、申請者が増えていることが割合増加に繋がっていると考えられる。	・報道機会が増え、市民の不妊治療に関する認知度が高まった。	◇継続して事業を実施。医療機関を利用していない人向けの定期的な周知方法について検討していく。
					一般不妊治療申請者は令和4年度59件、令和5年度41件。特定不妊治療申請者は令和4年度85件、令和5年度90件。一般は低下、特定は増加の申請件数となっている。		産婦人科医療機関へチラシを配布し、周知しているため、申請件数は低下しているが有効に作用している。	・一般の件数の低下は、令和4年度から特定不妊治療も保険適用となったことにより、一般からのステップアップした治療である特定不妊治療に進む人が増えたものと考えられる。	
3	健康こども部	●	産後ケア事業の充実	妊娠期から子育て期にわたり、母親及びその子どもに対し個別にケアや指導を行い、身体的な回復や心理的な安定につながるよう、民間団体が運営する産後ケアセンターでのデイサービス型及び家庭を訪問して行う訪問型産後ケア事業を実施する。また、こども家庭センターと関係機関が連携し、切れ目ない支援を行う。	①③④⑤ ・産後退院してから1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた人の割合は上昇し、期待値を上回っている。この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合は横ばいだが期待値を上回っている。 ・ゆったりとした気分です子供と過ごせる時間があった人の割合は横ばいで、期待値は下回っている。	A (A)	・産後ケア事業の周知をあらゆる機会を通じて行い、利用者が増加している。 ・子育て世代包括支援センター(現名称：こども家庭センター)としても保健師や助産師が訪問相談支援を行っている。		◇継続して事業を実施。現在の委託先の定員に限りがありキャンセル待ちが発生している。受入可能な運営主体の開拓等を検討する。
					民間団体と定期的に情報交換を行い、妊娠期からの切れ目ない支援につながった。		情報交換会を年3回設定することで、支援が必要な人へ継続して支援を行っている。		
4	健康こども部	●	産前・産後サポート事業の充実	妊娠期から出産後において、安心して育児に臨めるよう育児講座や母親同士の情報共有の場をつくる。また、関係機関と連携して、利用者ニーズの把握と事業効果の検証をしつつ、支援の場を充実させていく。	① 調査回答者のうち、18・19歳～50歳代で子育て環境は充実していて安心して育児ができると思うと回答した率は増加傾向であり、期待値を上回っている。	A (A)	関係機関と連携し、事業の充実に努めた。		◇継続して事業を実施
					産前・産後サポート事業を民間団体へ業務委託し、令和5年度は年12回延べ214人参加している。		育児で多い悩み等のテーマを決めたり、相談の機会を減らさないような対応を行った。		
5	健康こども部	●	保育所等の利用定員数の適正化と保育人材の確保	令和5年3月に策定した第2期北上市子ども・子育て支援事業計画中間見直しに基づき、公立施設の利用定員を削減するなど、保育サービスの需給均衡に向けて調整を行う。また、保育士の定着に向け、引き続き奨学金返還金への助成等を行っていく。	①⑥ 令和5年度当初の待機児童が0人となった。	A (A)		私立保育園の認定こども園化により保育の受け皿も拡大した一方で、出生数の減少により保育申込者数が減少している。	◇保育人材確保事業を継続する。 (保育士等就職支援助成金事業等) ◆認定こども園等を整備する事業者に対して費用の一部を補助する(江釣子地区認定こども園整備事業費補助)
					保育士等の保育料減免又は助成を39人に、奨学金返還補助を54人に、就職支援助成補助を21人に対して行い、市内の保育施設等で働く保育士の確保を図った。		就職支援助成金は3年、奨学金返還支援補助金は60月の保育施設勤務を要件としており、計画的な保育士の確保、定着の一助になっている。 学生対象のPR事業を実施した(令和4年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送り)。		

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針		成果 指標	達成状況(対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	達 成 状 況 分 析 (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
								内部要因	外部要因	
6	健康 こども部		多様な保育ニーズへの対応	社会情勢の変化等を見極めながら、多様な保育ニーズに対応した各種保育事業を継続すると共に、拡充を図っていく。	①⑦	乳幼児の一時預かり事業の実施施設が6か所に増加し、受け皿が充足している。	A (A)	令和3年度から保健・子育て支援複合施設hoKko内に設置している一般型の一時保育室について、周知の結果もあり利用者が大幅に増加し、十分に活用されている。	小規模保育事業所による一般型の一時保育室が開所したほか、余裕活用型も4か所となり、利用者が増加した。	◇一時預かり事業、延長保育、病後児保育事業等を継続するとともに、こども計画策定にあたり実施しているニーズ調査の結果も踏まえながら、多様な保育ニーズへの対応を検討していく。
						多様な保育ニーズに対応するため延長保育、病後児保育事業等を実施した。 延長保育は24園で実施、病後児保育はいいとよ保育園で継続のほか、体調不良児対応施設が2か所となった。		令和3年度から病後児保育室を北上済生会病院に委託して実施している。		
7	健康 こども部		学童保育所の環境整備	老朽化した学童保育所の計画的な整備と指定管理制度の対象施設の拡大を進める。	①⑧	学童保育所の計画的な整備と指定管理者制度の対象数の拡大を図り、期待値どおり整備している。	A (A)	・整備状況について、目標値に対し順調に進められている。 ・指定管理者制度への移行についても、対応可能なところから順次移行できている。 ・和式トイレの洋式化を推進し、児童が利用しやすい環境を整備している。		◇民間施設やレンタルプレハブ等の解消を目的とした学童保育所の計画的な整備及び指定管理者制度への移行を継続して進める。 ◇指定管理者について、更新のタイミングを目途に、安定した学童保育所運営を目的とした指定管理者の法人化の検討を進める。 ◇黒沢尻東学童保育所の建替え(～令和6年度) ◇和賀東学童保育所のトイレ増設(～令和6年度) ◆北上南学童保育所、鬼柳学童保育所について建て替え、指定管理者制度への移行をめざす
						学童保育の利用を希望する家庭が全て、学童保育所を利用できている。		・年2回、市の共催で研修会を行い、職員の資質向上に努め、受入れ体制を整えている。 ・低所得者やひとり親家庭に対する利用者負担の軽減を図り、経済的な面でも利用しやすい環境を整備している。		

凡例 ●実績値 — 期待値

指 標 ①		指標の説明								指 標 ②		指標の説明								指 標 ③		指標の説明							
北上市市民意識調査 子育て環境の充実度 (子育て環境は充実して いて安心して育児が できると思う率)		全回答者(無回答者を除く)のうち「そ う思う」「ややそう思う」「普通」と回答し た者の割合								妊娠届数の内、不妊治 療により妊娠した妊娠 届出数の割合		妊娠届のアンケートから不妊治療 を行った者の割合。								産後退院してからの1 か月程度、助産師や保 健師等からの指導・ケ アは十分に受けること ができた人の割合(産 後4か月頃)		4か月児健康診査を受診した保護 者の回答に占める「はい」の割合							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
福祉部/健康こ ども部	%	実績値	64.1	68.1		69.1	58.9			健康こども部	%	実績値	5.30	8.9	8.5	11.3	12			健康こども部	%	実績値	77.1	84.3	85.3	81.6	88.9		
		期待値 ※R7は目標値	64.1	64.3	64.4	64.6	64.7	64.9	65.0			期待値 ※R7は目標値	5.3	6.1	6.9	7.7	8.4	9.2	10			期待値 ※R7は目標値	77.1	77.9	78.7	79.6	80.4	81.2	82
		備 考			未実施							備 考										備 考	H30						
指 標 ④		指標の説明								指 標 ⑤		指標の説明								指 標 ⑥		指標の説明							
この地域で今後も子育 てをしていきたいと思 う人の割合(産後4か 月頃)		4か月児健康診査を受診した保護 者の回答に占める「[そう思う]」の割 合								ゆったりとした気分 で子供と過ごせる時 間があった人の割合 (産後4か月頃)		4か月児健康診査を受診した保護 者の回答に占める「はい」の割合								年度当初の待機児童 数		保育の必要性の認定を受け、保育 所等の利用の申込みをしているが、 利用できていない児童数。							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
健康こども部	%	実績値	54.9	62	60.8	61.4	61.5			健康こども部	%	実績値	85.7	87.5	89	87.7	87.8			健康こども部	人	実績値	13	1	0	0	0		
		期待値 ※R7は目標値	54.9	55.8	56.6	57.5	58.3	59.2	60			期待値 ※R7は目標値	85.7	86.4	87.1	87.9	88.6	89.3	90			期待値 ※R7は目標値	13	10.8	8.7	6.5	4.3	2.2	0
		備 考	H30						R5			備 考	H30						R5			備 考							
指 標 ⑦		指標の説明								指 標 ⑧		指標の説明								指 標 ⑨		指標の説明							
一時保育事業実施施 設		保護者の疾病やリフレッシュのた め、家庭において保育を受けるこ とが一時的に困難となった乳幼児 について年齢制限なしで一時的に 預かる事業所の数。								子ども・子育て支援 事業計画に基づく学 童保育所の施設整 備数		老朽化が著しい施設や基準を満た していない施設等の整備を行った 施設数																	
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
健康こども部	箇所	実績値	1	2	6	8	6			健康こども部	箇所	実績値	3	3	4	6	6					実績値							
		期待値 ※R7は目標値	1.0	1.2	1.3	1.5	1.7	1.8	2			期待値 ※R7は目標値	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6			期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑩		指標の説明								指 標 ⑪		指標の説明								指 標 ⑫		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							
指 標 ⑬		指標の説明								指 標 ⑭		指標の説明								指 標 ⑮		指標の説明							
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		実績値										実績値										実績値							
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
		備 考										備 考										備 考							